



★平成28年度女子シングルス優勝  
平野美宇  
(JOCエリートアカデミー/大原学園)

# Flash Eyes

観戦ガイド 1月15日号

天皇杯・皇后杯  
平成29年度  
全日本卓球選手権大会  
(一般・ジュニアの部)  
東京体育館

平成30年1月15日(月)  
～1月21日(日)

## 全日本 春風献上

天皇杯・皇后杯 平成29年度全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)が、1月15日(月)～21日(日)東京体育館で開幕。今大会のシングルス優勝者は、2018年世界選手権ハルムスタッド大会(団体戦)の代表に内定する。混戦を抜け出して、栄光の天皇杯皇后杯を手にするのは？

**掴み取れ!! 世界代表のチケットは誰の手に!!**

### ◆ 試合速報

試合の結果速報は、大会サイトで検索することができます。下記アドレスでご確認ください。さあ、今すぐアクセス!

●全日本選手権特設サイト

<http://japantabletennis.com/zennihon2018/>

### ◆ 入場料

●アリーナ席・SS席・S席・A席が  
ございます。

詳細は、下記アドレスでご確認ください。  
<http://www.japantabletennis.com/zennihon2018/ticket>

### ◆ 東京体育館

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1

TEL 03-5474-2111

<http://www.tef.or.jp/tmg/>

- JR総武線「千駄ヶ谷駅」下車すぐ
- 都営地下鉄大江戸線「国立競技場」A4出口
- 都営バス(早81) 早大正門発「渋谷駅東口行き」「千駄ヶ谷駅前」で下車徒歩1分
- 都営バス(黒77) 目黒駅発「千駄ヶ谷駅行き」「千駄ヶ谷駅」で下車徒歩1分

### ■男子シングルス

昨年、11年連続決勝進出で4年連続・史上最多9回の優勝を成し遂げた水谷隼は、自己の持つ記録更新・V10を目指す。準優勝でビッグトーナメント優勝の吉村和弘3位の元王者吉田海偉、同じく3位の平野美宇は昨年を上回ることが出来るのか。今年社会人入りした、直近世界ランキング日本人トップで6位の丹羽孝希10位松平健太、世界選手権最年少ベスト8、ワールドツアー・チヨオオープン最年少優勝、先の2018年世界選手権代表選考会優勝など成長著しい張本智和、社会人選手権3連覇、ジャパントップ12では水谷らを抜け優勝の上田仁らに注目が集まる。また、ビッグトーナメント準優勝の神巧也、世界選手権混合ダブルスで日本人初の金メダルを獲得した元王者吉村真晴、グランドファイナル復優勝、世界代表選考会準優勝の大島祐哉、3位高木和卓、吉田雅己らが社会人ペーヴーを見せつけるのか。学生界では、ユバシリーズ2連覇の大学王者森園政崇、ジャパントップ21準優勝の龍崎東真、学生選抜優勝の坪井勇磨や三部航平、郡山北斗、田添健汰、及川瑞基、酒井明日翔らにも注目。高校生では、ジュニア明彦の高校王者木造勇人、高見真己、田中佑汰らの活躍はいかに？

### ■女子シングルス

昨年最年少優勝を成し遂げて、アジア選手権優勝、世界選手権3位と波に乗る

### ■男子ダブルス

平野美宇の連覇はあるのか。それとも歴代3位5度目の優勝を狙う石川佳純のリベンジなるか。チヨオオープンで石川を破り優勝、世界選手権代表選考会優勝の伊藤美誠、スペインオープン優勝、選考会準優勝の早田ひなの闘いぶりに関心が集まる。選考会3位、世界ジュニア3位の加藤美優、昨年3位、ワールドツアーで活躍中の橋本帆乃香、佐藤瞳に加え、社会人王者松澤美咲、同準優勝の鈴木李那3位森園美咲、ビッグトーナメント準優勝の石垣優香、3位加藤杏華、宋恵佳、昨年混復優勝の前田美優、森さくら、永尾亮子ら日本リーグ勢、大学生王者安藤みなみ、準優勝の奥下茜里、3位前瀬初音らの活躍は？また、高校生王者梅村優香、中国オープンU21優勝の塩見真希、中学生王者木原美悠、同準優勝で伸び盛りの長崎美柚らの上位進出は？

### ■女子ダブルス

昨年王者で社会人2位の平田・永尾組、

### ■混合ダブルス

3連覇・4度目の優勝に挑む田添・前田組、3年ぶりの王座奪還を目指す世界選手権王者吉村・石川組、昨年3位の時吉・藤井組、横山・土田佳組に加え、今年は東京五輪を見据えた張本・平野組、森園・伊藤組、大島・早田組ら豪華メンバーが参戦。熱い戦いになること間違いなし。果たして栄冠を手中に収めるのは？!

### ■ジュニア男子

第一シードは、東京選手権優勝の宇田幸矢。高校2位の戸上隼輔、加賀美利山口勢、高校3位の田中佑汰、宮川昌大の輝、加山裕の愛知勢、クロアチアオープンU21優勝の金光宏暢らに中学優勝の手塚峻馬、同2位曾根翔らが挑む。大注目目は、昨年ベスト8に泣いた張本智和のジュニア初制覇成るか？!

### ■ジュニア女子

昨年2位、中学2位の長崎美柚が第一シード、中国オープンU21優勝の塩見真希が第二シード。岡崎日和、野村萌、千葉菜月、宮崎翔、出雲美空、皆川優香ら高校生勢に交じり、中学生王者木原美悠、全日本カデット14歳以下王者菅澤花里、13歳以下王者大藤沙月、ホープス王者小塩遥菜らが頂点を狙います。



★平成28年度  
男子シングルス優勝  
水谷隼(木下グループ)

# ALL-JAPAN DATA BANK

## 全日本卓球選手権各種目歴代優勝者（平成以降掲載）

年度	男子シングルス	女子シングルス	男子ダブルス	女子ダブルス	混合ダブルス	ジュニア男子	ジュニア女子
H1年 東京	齋藤 清 (神奈川)	星野 美香 (東京)	渋谷 浩二 (東京)	鄭 慧 萍 (長野)	黃 慧 東 (長野)	森本 洋治 (大阪)	河合 雅世 (神奈川)
2年 東京	齋藤 清 (神奈川)	星野 美香 (東京)	渋谷 浩二 (東京)	秋山 真樹子 (山梨)	渡辺 武弘 (愛知)	今枝 一郎 (愛知)	大島 美絵 (栃木)
3年 東京	渡辺 武弘 (東京)	佐藤 利香 (神奈川)	小野 誠治 (静岡)	橋川 美和子 (神奈川)	渡辺 武弘 (愛知)	仲村 錦治郎 (高知)	松岡 りか (大阪)
4年 東京	齋藤 清 (埼玉)	小山 ちれ (大阪)	渋谷 浩二 (東京)	大河 保子 (神奈川)	渡辺 武弘 (愛知)	村上 裕和 (埼玉)	西飯 由香 (三重)
5年 東京	松下 浩二 (神奈川)	小山 ちれ (大阪)	渡辺 武弘 (愛知)	益田 健 (宮城)	高室 亮 (神奈川)	遊澤 亮 (大阪)	河野 文江 (神奈川)
6年 東京	今枝 一郎 (愛知)	小山 ちれ (大阪)	中田 幸雄 (愛知)	佐藤 利香 (神奈川)	小泉 純彦 (神奈川)	真田 浩二 (愛知)	辻本 理恵 (大阪)
7年 東京	松下 浩二 (大阪)	小山 ちれ (大阪)	渋谷 浩二 (東京)	河野 文江 (神奈川)	鬼頭 明香 (愛知)	真田 浩二 (愛知)	川越 真由 (大阪)
8年 東京	岩崎 清信 (神奈川)	小山 ちれ (大阪)	中田 幸雄 (愛知)	坂高 愛紀 (大阪)	鬼頭 明香 (愛知)	谷口 祐二 (大阪)	武田 明子 (大阪)
9年 東京	偉関 晴光 (熊本)	小山 ちれ (大阪)	中田 幸雄 (愛知)	河野 文江 (神奈川)	橋本 正浩 (愛知)	柳田 敏則 (大阪)	小西 杏 (大阪)
10年 東京	偉関 晴光 (熊本)	坂田 愛 (大阪)	佐藤 利香 (神奈川)	西飯 美香 (三重)	川崎 崇弘 (熊本)	三田村 宗明 (青森)	藤沼 亜衣 (大阪)
11年 東京	渋谷 浩二 (神奈川)	小山 ちれ (大阪)	渋谷 浩二 (東京)	西飯 美香 (三重)	安西 正勝 (大阪)	坂本 竜介 (青森)	藤井 寛子 (大阪)
12年 名古屋	偉関 晴光 (熊本)	小山 ちれ (大阪)	鬼頭 明香 (愛知)	西飯 美香 (三重)	小林 仁幸 (愛知)	高木和健一 (青森)	平野早矢香 (宮城)
13年 東京	松下 浩二 (大阪)	梅村 礼 (大阪)	渋谷 浩二 (東京)	梅村 礼 (大阪)	倉嶋 洋介 (河内)	高木和健一 (青森)	福原 愛 (大阪)
14年 東京	松下 浩二 (大阪)	梅村 礼 (大阪)	倉嶋 洋介 (河内)	小西 杏 (愛知)	渡辺 武弘 (愛知)	岸川 聖也 (宮城)	福原 愛 (大阪)
15年 東京	偉関 晴光 (静岡)	平野早矢香 (大阪)	鬼頭 明香 (愛知)	小西 杏 (愛知)	新小 周 (大阪)	水谷 隼 (青森)	福原 愛 (大阪)
16年 東京	吉田 海偉 (神奈川)	平野早矢香 (大阪)	倉嶋 洋介 (河内)	小西 杏 (愛知)	坂本 竜介 (青森)	高木和健一 (青森)	石塚美和子 (大阪)
17年 東京	吉田 海偉 (神奈川)	金沢 咲希 (大阪)	倉嶋 洋介 (河内)	高橋 貴子 (香取)	足岡 也菜 (香取)	水谷 隼 (青森)	照井 萌美 (宮城)
18年 東京	水谷 隼 (青森)	平野早矢香 (大阪)	岸川 聖也 (宮城)	金沢 咲希 (大阪)	坂本 竜介 (青森)	水谷 隼 (青森)	石川 佳純 (大阪)
19年 東京	水谷 隼 (青森)	平野早矢香 (大阪)	岸川 聖也 (宮城)	福原 愛 (大阪)	田勢 邦史 (美濃)	上田 仁 (青森)	石川 佳純 (大阪)
20年 東京	水谷 隼 (東京)	平野早矢香 (大阪)	岸川 聖也 (宮城)	平野早矢香 (大阪)	田勢 邦史 (美濃)	上田 仁 (青森)	石川 佳純 (大阪)
21年 東京	水谷 隼 (東京)	王 輝 (茨城)	岸川 聖也 (宮城)	藤井 三紗子 (大阪)	松平 健太 (石川)	丹羽 孝希 (青森)	石川 佳純 (大阪)
22年 東京	水谷 隼 (東京)	石川 佳純 (大阪)	松平 健太 (石川)	藤井 三紗子 (大阪)	山本 辰男 (東京)	丹羽 孝希 (青森)	三宅菜津美 (岡山)
23年 東京	吉村 真晴 (山口)	福原 愛 (東京)	水谷 隼 (青森)	藤井 三紗子 (大阪)	松平 健太 (石川)	丹羽 孝希 (青森)	谷岡あゆか (東京)
24年 東京	丹羽 孝希 (青森)	福原 愛 (東京)	松平 健太 (石川)	藤井 三紗子 (大阪)	田前 健汰 (福岡)	森園 政崇 (青森)	松平 志徳 (大阪)
25年 東京	水谷 隼 (東京)	石川 佳純 (大阪)	松平 健太 (石川)	藤井 三紗子 (大阪)	張 蘭 (山東)	吉村 和弘 (山口)	加藤 美優 (東京)
26年 東京	水谷 隼 (東京)	石川 佳純 (大阪)	松平 健太 (石川)	藤井 三紗子 (大阪)	吉村 真晴 (山口)	及川 瑞基 (青森)	伊藤 美誠 (大阪)
27年 東京	水谷 隼 (東京)	石川 佳純 (大阪)	水谷 隼 (青森)	中野 早希 (東京)	田前 健汰 (福岡)	木造 勇人 (愛知)	浜本 由惟 (東京)
28年 東京	水谷 隼 (東京)	平野 美宇 (東京)	丹羽 孝希 (青森)	平野 美宇 (東京)	田前 健汰 (福岡)	木造 勇人 (愛知)	笹尾明日香 (神奈川)

## シングルス通算優勝回数

(3回以上を掲載)

### 《男子》

1. 水谷 隼	9回 (4連覇中・5連覇含む)
2. 齋藤 清	8回 (4連覇含む)
3. 長谷川信彦	6回 (3連覇含む)
4. 藤井 則和	5回 (4連覇含む)
5. 松下 浩二	4回 (2連覇含む)
偉関 晴光	4回 (2連覇含む)
7. 田中 利明	3回 (3連覇)
河野 満	3回 (3連覇)
高島 規郎	3回 (2連覇含む)

### 《女子》

1. 小山 ちれ	8回 (6連覇含む)
2. 星野 美香	7回 (5連覇含む)
3. 平野早矢香	5回 (3連覇含む)
大関 行江	5回 (2連覇含む)
5. 保原 キヨ	4回 (4連覇)
石川 佳純	4回 (3連覇含む)
7. 松崎キミ代	3回 (2連覇含む)

## 平成28年度 各種目優勝者

### 男子ダブルス



酒井明日翔 / 丹羽 孝希 組

### 女子ダブルス



平田 有貴 / 永尾 堯子 組

### 混合ダブルス



前田 美優 / 田添 健汰 組

### ジュニア



笹尾明日香・木造 勇人

## シングルス現役選手通算勝数

※記録は前年大会終了時。所属は今大会のもの。

《男子》		勝数	回数	《女子》		勝数	回数
水谷 隼	木下グループ	73	15	石川 佳純	全	59	13
吉田 海偉	東京アート	52	12	石垣 優香	日本生命	30	14
岸川 聖也	ファースト	38	16	河村 茉依	アスモ	28	16
三田村宗明	リトルキングス	36	19	藤井 優子	愛媛銀行	28	13
大矢 英俊	東京アート	32	13	森園 美咲	日立化成	26	11
松平 賢二	協和発酵キリン	31	13	松澤 菜里奈	十六銀行	23	11
丹羽 孝希	スヴェンソン	30	9	平野 美宇	JOCリーガファイターズ・大塚学園	23	8
高木和 卓	東京アート	30	14	田代 早紀	日本生命	22	10
《男子最多勝数記録》	齋藤 清	101	30	《女子最多勝数記録》	伊藤 和子	100	45